

2018 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	中西 麻一子
研究テーマ	スジャーターの乳鉢供養伝説とその図像表現
研究概要	スジャーターの乳鉢供養伝説を伝える文献資料と図像資料を収集整理して、この伝説の形成と展開を考察する。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>今年度は、スジャーターの乳粥供養説話を伝承する文献資料と図像資料を収集整理し、この説話の伝承過程を考察した。同主題は、初期経典の散文資料にその端緒を求めることが出来るが、シッダールタに乳粥を捧げた村娘（スジャーターもしくはナンダー、ナンダバラ）は、仏伝文学や律蔵の段階になって初めて登場することが判明した。そしてそれに対応する図像資料は、いずれも律蔵の仏伝ではなく仏伝文学に記される乳粥供養説話が苦行放棄の場面として表現されていることを確認した。</p> <p>続いて、これら文献資料と図像資料の考察を踏まえて、新出土のカナガナハリ大塔（南インド、カルナータカ州）から出土した乳粥供養図の図像表現を解明することに従事した。2019年2月には、インド考古局よりカナガナハリ遺跡調査許可証を取得したうえで同遺跡の現地調査を実施した。現地にて乳粥供養図の図像表現を観察できたことは、本研究を遂行するにあたり非常に有意義であった。以上の研究成果は、次に記す『南アジア I』に投稿した。</p>
2. 学術論文・学会発表等	「カナガナハリ大塔におけるスジャーターの乳粥供養図について」、『南アジア I（マウリヤ朝～グプタ朝）』、中央公論美術出版、2019年12月刊行予定。
3. 競争的資金への応募と採択	研究課題「カナガナハリ大塔を中心とするインド仏教史的研究」、科研費研究活動スタート支援採択、研究期間：2018年4月-2020年3月。
4. 今後の課題	2018年度に実施したカナガナハリ大塔の現地調査で撮影した写真データや実測データを、研究資料として使用できるように、フォトショップ・CADを用いた補正作業を行う。それと同時に、引き続き、カナガナハリ大塔から出土した仏伝図を一場面ごとに取り上げて、文献資料に基づいて解明する。